



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 共立メンテナンス  
コード番号 9616 URL <http://www.kyoritsugroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 充孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 上田 卓味

TEL 03-5295-7778

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,833	2.4	3,359	18.0	2,564	17.1	1,148	81.7
23年3月期第2四半期	42,789	△1.2	2,847	△9.7	2,190	△15.2	631	△47.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,106百万円 (46.9%) 23年3月期第2四半期 753百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	79.92	67.64
23年3月期第2四半期	43.97	36.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	123,164	30,997	25.2
23年3月期	141,314	30,166	21.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,997百万円 23年3月期 30,164百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
24年3月期	—	19.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	8.3	4,850	5.2	3,500	5.8	1,430	35.8	99.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	15,125,582 株	23年3月期	15,125,582 株
24年3月期2Q	760,938 株	23年3月期	760,687 株
24年3月期2Q	14,364,739 株	23年3月期2Q	14,365,286 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載することとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の被害による経済環境の落ち込みから徐々に回復しつつあるものの、電力供給不足などの国内問題のみならず、海外事情による円高の進行等、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間は、寮事業が堅調に推移した他、特に、震災による影響を危惧したホテル事業において、ドーマーイン（ビジネスホテル）事業は前年同期を上回る稼働率にて推移し、またリゾート（リゾートホテル）事業はゴールデンウィークを機に大幅に改善し、本格的なリゾートシーズン（7月～9月）を高稼働にて推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高43,833百万円（前年同期比2.4%増）となり、営業利益3,359百万円（前年同期比18.0%増）、経常利益2,564百万円（前年同期比17.1%増）、四半期純利益1,148百万円（前年同期比81.7%増）と前期実績及び当初業績予想を大幅に上回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①寮事業

寮事業では、震災による被災地からの学生様の入寮キャンセル等の影響があったものの、期初稼働率95.3%（前年比2.4ポイント増）と好調にスタートいたしました。また、前年同期に比べ大手企業様による新人研修寮としての新規契約や大口の留学生法人契約もあり、契約金等の売上が増加しております。この結果、寮事業全体での9月末現在の稼働契約数は28,702名（前年同期に比べ913名増）となり、売上高20,062百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益3,032百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

#### ②ホテル事業

ホテル事業のうちドーマーイン事業では、当第2四半期連結累計期間に『天然温泉 富嶽の湯 ドーマーイン三島』『天然温泉 白鷺の湯 ドーマーイン姫路』『天然温泉 袖湊の湯 ドーマーインPREMIUM博多キャナルシティ前』の3事業所を新規オープンした他、既存事業所で、一部復興需要の影響のみならず、全体的に前年同期を上回る稼働率にて推移し大きな牽引役となりました。また、リゾート事業においても、震災による自粛等の影響があったものの、きめ細かな営業推進が功を奏し、ゴールデンウィークを機に大幅に改善し、夏場の本格的なリゾートシーズンを高稼働にて推移いたしました。この結果、売上高16,971百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益1,273百万円（前年同期比71.0%増）となり、大幅な増益となりました。

#### ③総合ビルマネジメント事業

総合ビルマネジメント事業では、前期以前に大口解約のあったビル賃貸部門につきましては、稼働率は回復に向かっておりますが、賃料低下等により収益面での本格的な回復には至りませんでした。この結果、売上高5,865百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益22百万円（前年同期に比べ61百万円増益）となりました。

#### ④フーズ事業

フーズ事業では、個人消費環境の悪化等により厳しい事業環境が継続しております。この結果、売上高2,130百万円（前年同期比4.6%増）、営業損失82百万円（前年同期に比べ2百万円増益）となりました。

#### ⑤デベロップメント事業

デベロップメント事業では、開発物件が下半期に傾斜したことに伴い前年同期に比べ、当第2四半期連結累計期間では、竣工・引渡しが減少いたしました。引き続きコスト管理の徹底を図った結果、売上高は2,131百万円（前年同期比16.5%減）となり、営業利益は76百万円（前年同期比679.8%増）となりました。

#### ⑥その他事業

その他事業は、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業であります。

これらの事業の合計は、売上高1,935百万円（前年同期比6.4%増）、営業損失142百万円（前年同期に比べ141百万円減益）となりました。営業損失の主な要因はPKP事業の立ち上げに伴うものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、123,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,149百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、92,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,980百万円の減少となりました。主な要因は、1年内償還予定の社債、長期借入金の減少などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、30,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ830百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.2%となり、前連結会計年度末に比べ、3.9ポイントの増加となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ17,849百万円減少し、9,048百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益の増加による収入及びたな卸資産の増加による支出の影響により、前年同期に比べ2,627百万円支出が増加し、3,492百万円の支出となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の売却による収入及び有形固定資産の取得による支出の影響により、前年同期に比べ2,251百万円支出が減少し、155百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の増加による収入及び社債の償還による支出の影響により、前年同期に比べ15,254百万円支出が増加し、14,201百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,855	10,006
受取手形及び売掛金	2,832	3,505
販売用不動産	1,081	2,389
未成工事支出金	235	323
その他	4,811	4,687
貸倒引当金	△32	△49
流動資産合計	36,783	20,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,327	30,501
土地	24,454	24,482
その他（純額）	16,504	14,149
有形固定資産合計	71,285	69,134
無形固定資産		
	3,785	3,755
投資その他の資産		
投資有価証券	5,783	5,534
差入保証金	8,948	9,182
敷金	7,787	7,955
その他	7,007	6,816
貸倒引当金	△169	△168
投資その他の資産合計	29,357	29,321
固定資産合計	104,428	102,210
繰延資産	101	91
資産合計	141,314	123,164

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,609	2,095
短期借入金	17,945	18,403
1年内償還予定の社債	11,640	1,480
未払法人税等	955	1,158
前受金	10,975	8,246
賞与引当金	581	535
役員賞与引当金	128	70
完成工事補償引当金	12	11
工事損失引当金	4	—
その他	5,694	3,790
流動負債合計	50,546	35,790
固定負債		
社債	7,745	7,085
長期借入金	45,701	42,181
退職給付引当金	1,223	1,248
役員退職慰労引当金	313	305
その他	5,616	5,555
固定負債合計	60,600	56,376
負債合計	111,147	92,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,136	5,136
資本剰余金	5,943	5,943
利益剰余金	21,211	22,086
自己株式	△1,470	△1,471
株主資本合計	30,820	31,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△655	△697
その他の包括利益累計額合計	△655	△697
少数株主持分	1	—
純資産合計	30,166	30,997
負債純資産合計	141,314	123,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	42,789	43,833
売上原価	34,393	34,670
売上総利益	8,396	9,162
販売費及び一般管理費	5,548	5,803
営業利益	2,847	3,359
営業外収益		
受取利息	34	47
受取配当金	23	20
解約保証金収入	71	46
その他	154	54
営業外収益合計	284	168
営業外費用		
支払利息	699	747
その他	242	215
営業外費用合計	941	963
経常利益	2,190	2,564
特別利益		
保険解約返戻金	53	—
固定資産売却益	—	124
その他	19	—
特別利益合計	73	124
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	696	—
災害による損失	—	85
投資有価証券評価損	—	251
その他	110	26
特別損失合計	806	363
税金等調整前四半期純利益	1,457	2,325
法人税等	809	1,177
少数株主損益調整前四半期純利益	648	1,148
少数株主利益	16	0
四半期純利益	631	1,148

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	648	1,148
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	104	△42
その他の包括利益合計	104	△42
四半期包括利益	753	1,106
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	736	1,105
少数株主に係る四半期包括利益	16	0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,457	2,325
減価償却費	2,131	1,669
長期前払費用償却額	149	117
差入保証金償却額	75	92
賞与引当金の増減額（△は減少）	△188	△46
受取利息及び受取配当金	△58	△67
支払利息	699	747
固定資産除売却損益（△は益）	△8	△91
有価証券評価損益（△は益）	0	251
売上債権の増減額（△は増加）	1,048	△672
未収入金の増減額（△は増加）	486	529
たな卸資産の増減額（△は増加）	572	△1,402
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,126	△852
前受金の増減額（△は減少）	△4,382	△3,256
未払消費税等の増減額（△は減少）	205	△522
預り金の増減額（△は減少）	△908	△625
預り保証金の増減額（△は減少）	△85	△93
前受収益の増減額（△は減少）	△71	△71
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	696	—
その他	638	119
小計	330	△1,850
利息及び配当金の受取額	48	51
利息の支払額	△708	△748
法人税等の還付額	43	6
法人税等の支払額	△579	△951
営業活動によるキャッシュ・フロー	△864	△3,492
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,164	△138
有価証券の売却による収入	36	127
有形固定資産の取得による支出	△1,509	△2,494
無形固定資産の取得による支出	△128	△71
有形固定資産の売却による収入	919	2,904
貸付けによる支出	△593	△111
貸付金の回収による収入	693	263
敷金及び保証金の差入による支出	△1,092	△497
敷金及び保証金の回収による収入	261	22
保険積立金の解約による収入	443	45
その他	△273	△205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,406	△155

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,075	1,230
長期借入れによる収入	—	845
長期借入金の返済による支出	△4,761	△5,138
社債の償還による支出	△970	△10,820
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△272	△273
少数株主への配当金の支払額	△9	△0
その他	△9	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,052	△14,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,218	△17,849
現金及び現金同等物の期首残高	11,460	26,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,242	9,048

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	19,689	15,824	3,450	640	1,882	41,487	1,302	42,789	—	42,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	36	2,040	1,396	670	4,197	516	4,714	△4,714	—
計	19,742	15,860	5,490	2,036	2,553	45,684	1,819	47,503	△4,714	42,789
セグメント利益 又は損失(△)	2,961	744	△39	△84	9	3,591	△1	3,589	△742	2,847

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、不動産賃貸借物件の仲介斡旋・管理事業、单身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、総合広告代理店事業、その他の付帯事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△742百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△798百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	20,006	16,931	3,640	674	832	42,084	1,748	43,833	—	43,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	40	2,225	1,456	1,299	5,077	187	5,264	△5,264	—
計	20,062	16,971	5,865	2,130	2,131	47,161	1,935	49,097	△5,264	43,833
セグメント利益 又は損失（△）	3,032	1,273	22	△82	76	4,321	△142	4,178	△819	3,359

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、单身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△819百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△807百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）  
（自己株式の取得）

当社は、平成23年11月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上を通じ株主価値の向上を図るとともに、経営環境の変化などに対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 取得の内容

- (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 320,000株（上限）  
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.22%）
- (3) 取得価額の総額 400百万円（上限）
- (4) 取得期間 平成23年11月14日～平成24年1月6日
- (5) 取得の方法 東京証券取引所における市場買付による